

四十四回蒼天句会 今月の一句

令和八年六月十一日 兼題…代掻、又は自由

代掻きのポケットに鳴るNHK 公子

村に結い水分け合いて代掻きす 婦紗子

夏空にガウデイの塔バルセロナ 賢一

渾身の代掻き終える田風かな 繁一

代掻や神話息づく吉備の里 孝志

入ればとそと上げられし日傘かな 洋一

代掻きの体験学習賑やかに 信江

雲流れ代田に映る宇宙かな 静江

母の日や使い込まれしお六櫛 鎮夫

代掻くや隣の列は耕耘機 国祥

水神の豊漁祭や境川 隆彦

還暦の子に背負はれて生身魂 重子

夕ぐれて泥鰯の遊ぶ代田かな 朱美

妃殿下やクイーンの名のある薔薇フェスタ 紹子

トラクターの大音響や代を掻く 晴代

代掻きの済むや田舎の原風景 久恵